

# 第 1 章 秋田県のすがた

## 第 1 節 地勢・沿革

### 1 地 勢

本県は、首都東京のほぼ真北約450kmの日本海沿岸にあって面積11,612km<sup>2</sup>(全国第6位)、13市9町3村に区分されています。

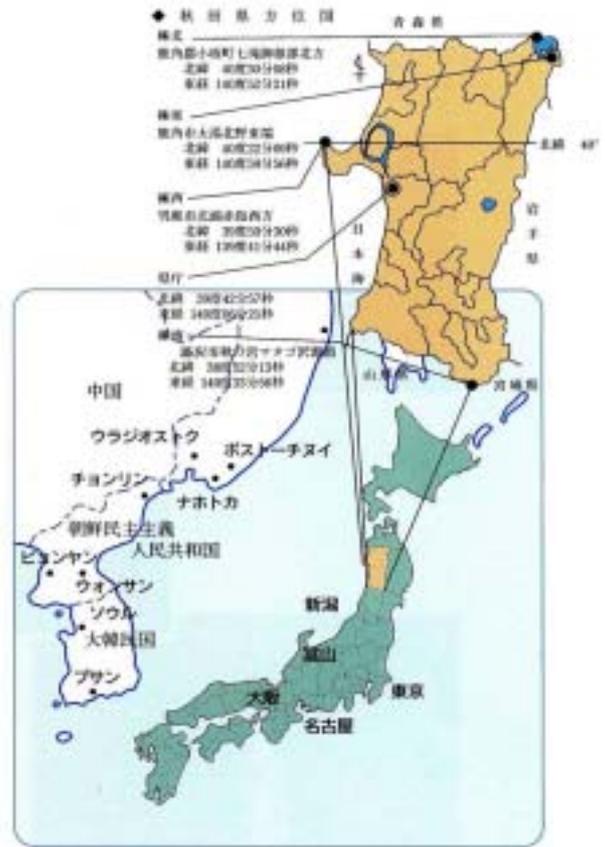
県北には、鷹巣、大館、花輪の諸盆地、県南は横手盆地などをつくり、一方、雄物川、米代川、子吉川などの河川に沿って肥沃な耕地が展開し、その下流には秋田、能代、本荘の各平野が開け多くの都市を發展させています。

### 2 沿 革

明治4年の廃藩置県によって、秋田県が誕生して以来、多くの人々が郷土の發展に力を尽くし、今日の秋田が築かれてきました。

昭和26年の「秋田県総合發展計画」以来、その時々を経済社会情勢に応じた基本目標やテーマを設定しながら、数次にわたる総合計画を策定してきました。

平成12年度からスタートした「あきた21総合計画」では、「安全・安心に楽しく暮らす秋田」等の五つの基本目標を掲げ、「時と豊かに暮らす秋田」の実現を目指しています。



年月日	羽 後 国	陸 中 国
明治元年	久保田領 秋山河仙平雄 田本辺北鹿勝 郡郡郡郡郡 久保田藩	南部領 鹿角郡 南部藩
明治3年2月24日	岩崎藩(雄勝郡東部)立藩	
明治4年1月13日	久保田藩を秋田藩と改称	
明治4年7月14日	秋田県	江刺県 酒田県 矢島県 本荘県 亀田県 岩崎県
明治4年11月2日	秋田県	岩崎県、亀田県、本荘県、矢島県、酒田県の一部(旧仁賀保領)及び江刺県のうちいまの鹿角市、鹿角郡を編入した。
平成18年4月1日	平成16年度～17年度 市町村合併 「9市50町10村」から「13市9町3村」となった(詳細はP4)。	

## 第2節 自然・気象

### 1 自然

本県は、全国で6番目という広い面積を持ち、春の新緑、夏の空と海の青さ、秋の紅葉、冬の雪景といった色彩感あふれる四季の変化に富んだ自然を誇り、その息吹を身近に感じながら生活することができます。



駒ヶ岳とチングルマ



入道崎



十和田湖



法体の滝



樹氷の八幡平

### 2 気候

当県の気候は、概ね出羽山地により海岸部と内陸部の2つに区分されます。海岸部は全般的に対流の影響を受けてしのぎやすく、冬期間でも積雪は少なめです。

内陸部は夏には比較的高温となり、冬は寒さが厳しく積雪も多くなります。県の面積のほぼ半分が特別豪雪地帯となっております。

全般に長い冬と短い夏が特徴で、四季の変化がはっきりしています。

	秋田	札幌	仙台	東京
最低気温 ( )	- 5.1	- 11.0	- 4.9	0.2
最高気温 ( )	36.4	33.2	34.0	39.5
年平均気温 ( )	12.5	9.7	13.1	17.3
年間日照時間 ( )	1,413.5	1,668.4	1,934.6	2,132.7
年降水量 ( )	1,784.0	1,130.5	1,233.0	1,750.0
降水日数 ( )	183	150	100	93
雪日数 ( )	90	126	58	7

資料：「平成16年気象データ」(気象庁)

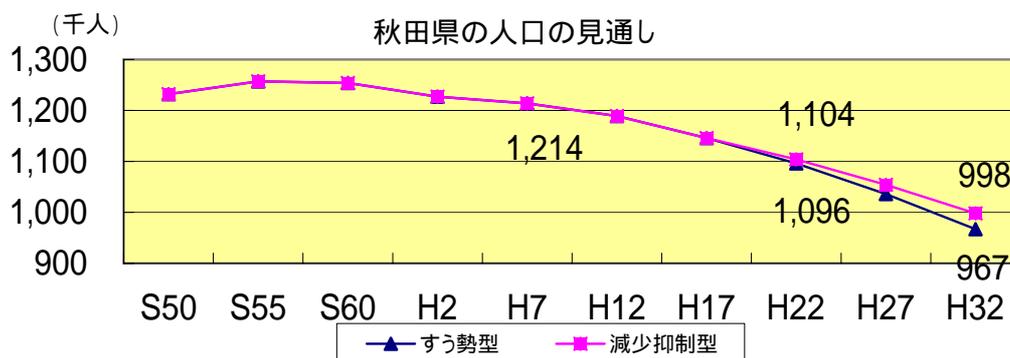
## 第3節 人口・産業構造

### 1 人口

本県の人口は昭和57年(1982年)から減少に転じ、平成17年10月(2005年)には約114万人となっています。「あきた21総合計画」では、減少抑制型で、平成32年(2020年)には100万人をきる推計結果になっています。

人口動態についてみると、自然動態は平成5年(1993年)に減少に転じ、平成17年では前年に比べ、約5,200人の減となっています。一方、社会動態は、一貫して減少傾向であり、平成17年は前年に比べ約4,500人の減となっています。

また年齢別では、年少人口(0~14歳)、生産年齢人口(15~64歳)の割合が年々低下している一方、老年人口(75歳以上)の割合は、上昇しており、平成17年は約26%となっています。



すう勢型は現状のまま出生率などが推移した場合の人口を、また、減少抑制型は少子化対策、雇用の創出などにより、出生率の回復や人口流出が抑制された場合の人口を示している。

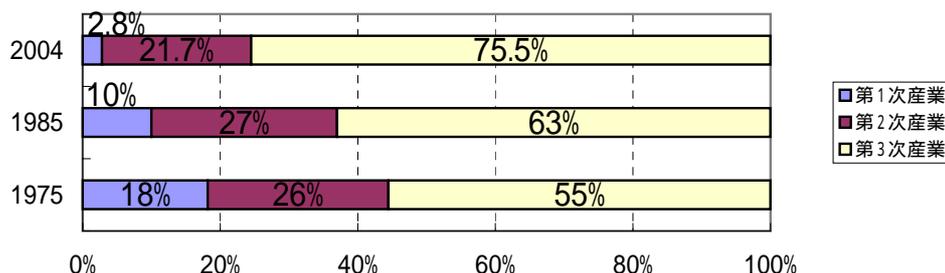
出典「あきた21総合計画 第3期実施計画」、「平成17年秋田県年齢別人口流動調査結果[速報]H17.12」

### 2 経済・産業構造

平成16年度の県内総生産(名目値)は3兆6,681億円で、前年度に比べ329億円(0.9%)減少しました。また、県民所得(名目値)は2兆7,207億円で、前年度に比べ142億円(0.5%)減少しました。

産業構造の推移を県内総生産でみると、昭和50年(1975年)に18%あった第一次産業のシェアが平成16年(2004年)には2.8%と大幅に縮小しています。

区分		15年度	16年度	対前年度増加	
				金額	率
秋田県	県内総生産(名目)	37,010(億円)	36,681(億円)	-329(億円)	-0.9
	県民所得	27,349(億円)	27,207(億円)	-142(億円)	-0.5
	1人当たり県民所得	2,343(千円)	2,347(千円)	4(千円)	0.2
全国	国内総生産	4,935,532(億円)	4,961,970(億円)	26,438(億円)	0.5
	国民所得	3,584,636(億円)	3,610,901(億円)	26,265(億円)	0.7
	1人当たり国民所得	2,807(千円)	2,826(千円)	19(千円)	0.7



資料：「秋田県県民経済計算平成16年度速報」(秋田県)

# 1 面積

本県の総面積は約11,612km<sup>2</sup>、全国第6位で、東京都、埼玉県、千葉県を合計を上回ります。また、比較的大きな各市町村の面積規模が、市町村合併によりさらに大きくなり、由利本荘市と北秋田市の合計だけで東京都や沖縄県を上回り、神奈川県にほぼ等しい面積になります。

秋田県市町村区域図

